



MUSASHI-BUSHI むさし - ぶし

足立遠元 あだちとおもと



足立遠元ってだれ??

かまくらじだいしょき

むさしのくに ぶし

▶ 鎌倉時代初期にかつやくした武蔵国の武士



足立遠元ってだれ??

かまくらじだいしょき

むさしのくに ぶし

▶ 鎌倉時代初期にかつやくした武蔵国の武士

鎌倉時代っていつ??

▶ 1185年ごろ～1333年までの約148年の時代

(今から837年から689年前もまえの時代)

武蔵国ってどこ??

さいたまけん

とうきょうと

かながわけん

▶ 今の「埼玉県」と「東京都」と「少しだけ神奈川県」

武士ってなに??

ぶげい

ぶき

たたか

しごと

▶ 武芸や武器で戦うことを仕事にした人たち

足立遠元とは

平安時代に産まれて、鎌倉時代のはじめの時代にかつやくした武蔵国の武士です。

あだちぐん

武蔵国では足立郡という地域を支配しました。

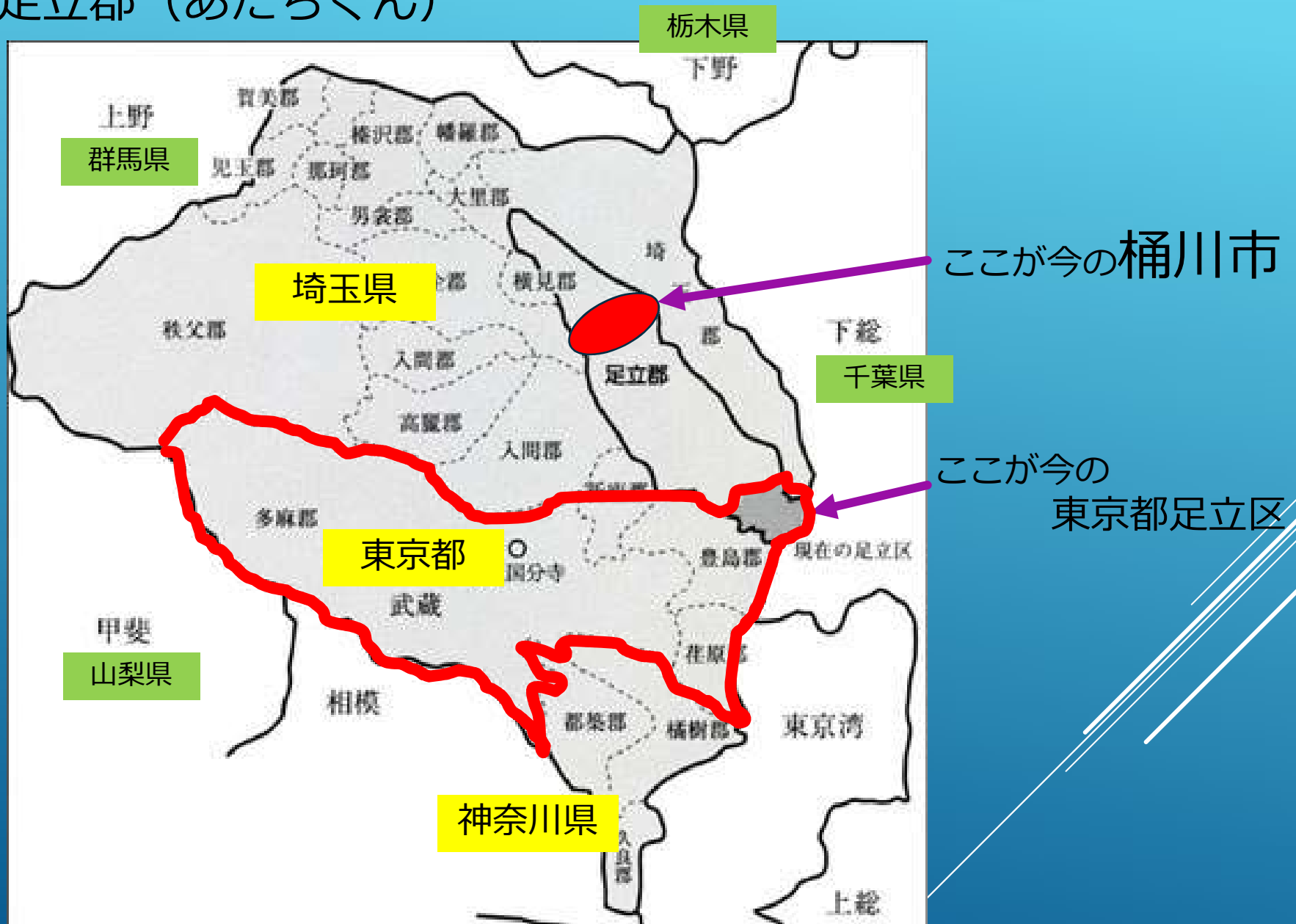
?

あだちぐん
足立郡

足立郡 (あだちぐん)



足立郡 (あだちぐん)



どうして「鎌倉殿の13人」に出てくるのだろうか？

足立遠元が生きていた時代、当時の日本の中心地であった京都では、「平清盛（たいらのきよもり）」という人物が権力をもって独裁的な政治をしていました。これをたおすために、皇族の以仁王（もちひとおう）は、全国の武士に「平清盛を倒せ！」と命令しました。

伊豆国（いずのくに）という、今の静岡県伊豆半島にいた「源頼朝（みなもとのよりとも）」という武士は、この命令を受けて、家来たちと一緒に「平清盛」をたおすために戦いをおこします。

こうして、伊豆国を出た源頼朝は、平清盛に味方する武士と戦いながら、安房国（あわのくに・今の千葉県）をとおって武蔵国（むさしのくに）へとやってきます。武蔵国までやってきた源頼朝をまっさきに出迎えて、家来になったのが足立遠元なのです。

これに感動した源頼朝は、改めて武蔵国の足立郡をしっかりと守るようにと足立遠元に与えました。その後も、重要な家来の1人として足立遠元のことをとても信頼しました。

どうして「鎌倉殿の13人」に出てくるのだろうか？

こうして、多くの武士たちを味方につけた源頼朝は、大きな力をもつようになりました。

そして、相模国（今の神奈川県）の「鎌倉（かまくら）」で役所をつくり、ここを拠点にして、日本の国を治めるための政治をとりおこなうようになっていったのです。これは、武士による政治のはじまりとなり、やがてこれが「鎌倉幕府（かまくらばくふ）」となるのです。

足立遠元は、「公文所」という政治の中心となる役所の役人に任命され、その後も鎌倉幕府でかつやくします。

鎌倉幕府の将軍となった源頼朝には、たくさんの家来がいましたが、その中でも政治をするうえで特に大切な家来が13人いました。これが「鎌倉殿の13人」といわれる人たちで、足立遠元もその1人だったのです。

「鎌倉殿」ってだれだろう？

鎌倉幕府をつくったのは 源頼朝

初代将軍	源 頼朝
2代将軍	源 頼家（みなもとのよりいえ）
3代将軍	源 実朝（みなもとのさねとも）

4代将軍
↓

9代将軍

鎌倉殿

かまくらの

主人と家来の関係を結んだ御家人（家来）たちからこう呼ばれていました。



鎌倉殿の13人

京都から来た人たち
「官人」「役人」

大江広元（おおえ ひろもと）
三善康信（みよし やすのぶ）
二階堂行政（にかいどう ゆきまさ）
中原親能（なかはら ちかよし）

源頼朝の側近の「武士」

梶原景時（かじわら かげとき）
八田知家（はった ともいえ）
足立遠元（あだち とおもと）
北条義時（ほうじょう よしとき）

源頼朝と関係の深い
東国の「武士」

比企能員（ひき よしかず）
三浦義澄（みうら よしずみ）
北条時政（ほうじょう ときまさ）
和田義盛（わだ よしもり）
安達盛長（あだち もりなが）





足立遠元はナゾだらけ？？？

いつ生まれたの？

わかりません。平安時代の1130年代という説があります。

どこで生まれたの？

わかりません。たぶん武蔵国の足立郡です。

お父さんとお母さんはだれ？

お父さんは「藤原遠兼（ふじわらのとおかね）」という京都の役人です。

お母さんは、豊島康家（としまやすいえ）という武蔵国の武士の娘です。



足立遠元はナゾだらけ？？？

なぜ「藤原遠元」ではなく「足立遠元」なの？

お父さんの藤原遠兼は、武蔵国の役人になるために京都から転勤してきた人でした。

そこで、地元の武士、豊島康家（としまやすいえ）の娘さんと結婚したのです。

遠元のおじいさんにあたる豊島康家は、武蔵国足立郡の郡司という役人だったのです。

大人になった遠元は、おじいさんの支配していた足立郡をゆずり受け、おじいさんに代わって足立郡の郡司になりました。

このとき、名前を「足立郡司の遠元」にちなんで「足立遠元」と改名し「足立氏」を作ったのです。

こうして武蔵国の武士「足立氏」が誕生したのです。



足立遠元はナゾだらけ？？？

いつ亡くなったの？

鎌倉時代の1207年ごろといわれています。

どこに住んでいたの？

今の **桶川市** といわれています。

家は **ここ** です。



足立遠元はナゾだらけ？？？

どんな人だったのだろうか？

武士でありながら、役人としてもすぐれた

文武両道の人だったと伝えられています。

それは、武士である足立遠元を、「公文所」の役人に大抜擢という
鎌倉幕府初期の「異例の人事」からもうかがえます。

※「公文所」とは

公文書の管理をはじめ、政務、財政、徴収、訴訟などの政治の実務をおこなう役所。

鎌倉殿の13人のうち「公文所」の役人は？

京都から来た人たち
「官人」「役人」

大江広元（おおえ ひろもと） 別当（所長）

三善康信（みよし やすのぶ）

二階堂行政（にかいどう ゆきまさ）

中原親能（なかはら ちかよし）

藤原邦通（ふじわら くにみち）

寄人（よりゅうど・役人）

源頼朝と関係の深い
東国の「武士」

比企能員（ひき よしかず）

三浦義澄（みうら よしずみ）

北条時政（ほうじょう ときまさ）

和田義盛（わだ よしもり）

安達盛長（あだち もりなが）

源頼朝の側近の「武士」

梶原景時（かじわら かげとき）

八田知家（はった ともいえ）

足立遠元（あだち とおもと）

北条義時（ほうじょう よしとき）



足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

へいじものがたり

～平治物語より～

※平治の乱

1159年（平治元年）に京都でおこった内乱（権力争い）。

藤原信頼・源義朝（源頼朝の父）が、当時権力をもっていた藤原通憲（信西）らに対して起こしたクーデター。

平治の乱がおこった時、のちに鎌倉殿となる源頼朝はまだ子供でしたが、

頼朝の父である「源義朝」は関東に勢力を持つ武士でした。

足立遠元は、この源義朝に従い、平時の乱に参戦しました。

足立遠元はナゾだらけ???

足立遠元の人がらを伝えるエピソード



～平治物語より～

平治物語絵巻「三条殿夜討」(ボストン美術館蔵)



足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



六波羅攻めでは、武蔵の武士
金子十郎家忠が先陣をきって
戦った。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



しかし、激戦の中、金子家忠
は矢を射つくし、弓は折れ、
刀も折れてしまった。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



戦いたくとも戦えず、家忠は
戦場をかけ回っていた。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



そうしているうちに、同じく
奮戦する足立遠元と行き会っ
た。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



すると家忠は、遠元に脇差し
を貸してくれるよう頼んだ。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



しかし、遠元は脇差しを持っ
ていない。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



そこで遠元は、家忠のために
と、自分の前で戦っていた郎
党の刀を取って、家忠に与え
た。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



家忠はこれに感謝し、ふたたび
激戦の中へと戻っていった。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
一六波羅合戦の事一



しかし・・・



足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



自分の刀を取り上げられた郎
党は、遠元に不満をもち、こ
う訴える。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



「遠元様。私があなただのお役に立たないのならば、私はこの場で自害します！」

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



馬からおりて、これを止めた
遠元は、このように諭した。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



「おまえの訴えはもっともである。しかし、仲間を見捨てることもできない。」

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかせん
ー六波羅合戦の事ー



そこへ、敵方の武者が遠元を
討とうと向かってきた。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



その武者を、遠元は自ら弓で
射て仕留めた。

足立遠元はナゾだらけ？？？

足立遠元の人がらを伝えるエピソード

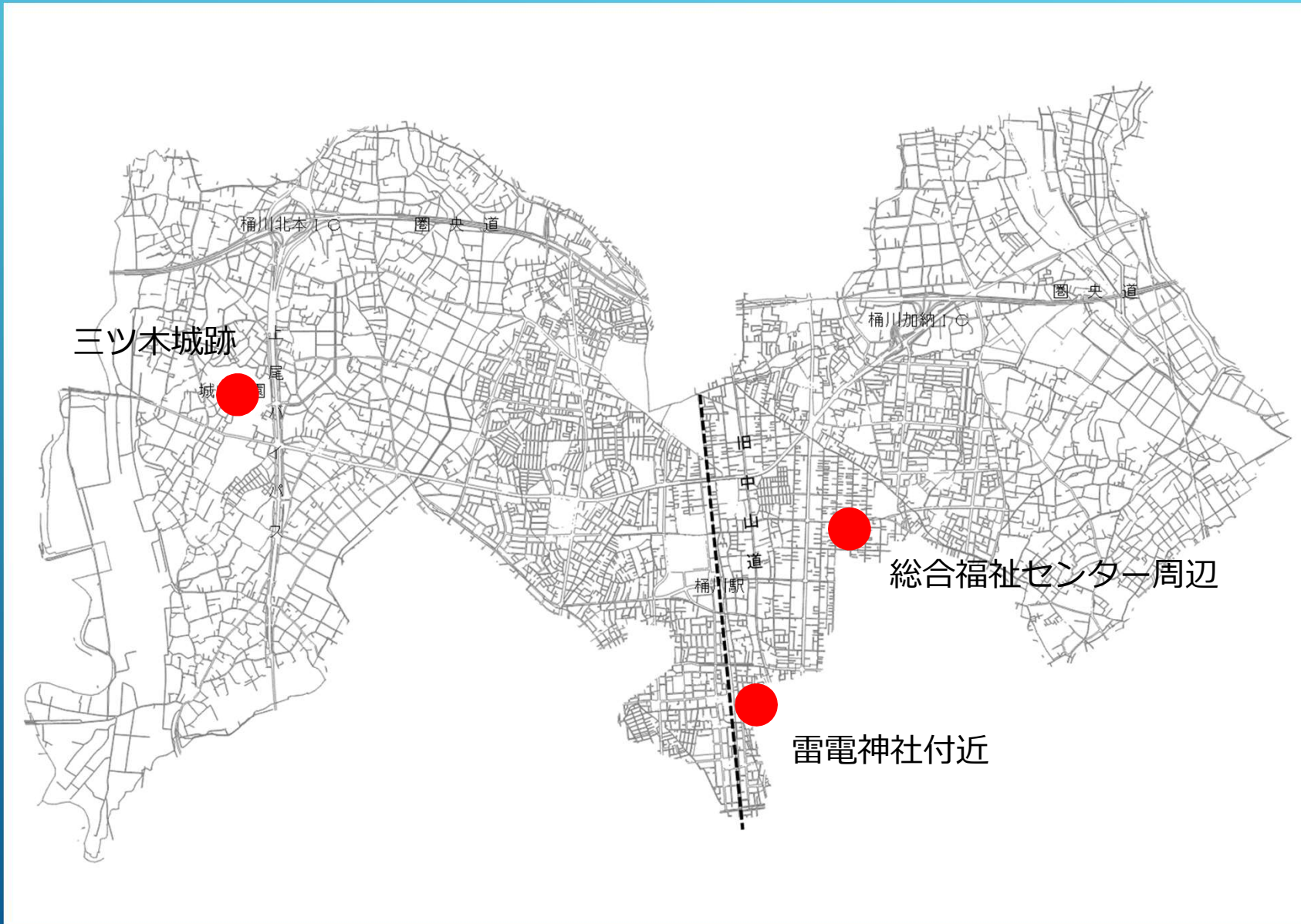
～平治物語より～

ろくはらかっせん
ー六波羅合戦の事ー



そして、仕留めた武者が持っ
ていた刀を取って郎党に与え、
ともに戦いにもどっていった。

足立遠元ゆかりの地を訪ねる



足立遠元ゆかりの地を訪ねる

総合福祉センター周辺



足立遠元ゆかりの地を訪ねる

総合福祉センター周辺



桶川市指定文化財「桶川宿古絵図」
1694年(元禄7年)ころ

足立遠元の館跡と伝わる場所か

足立遠元ゆかりの地を訪ねる

雷電神社付近（神明1丁目）



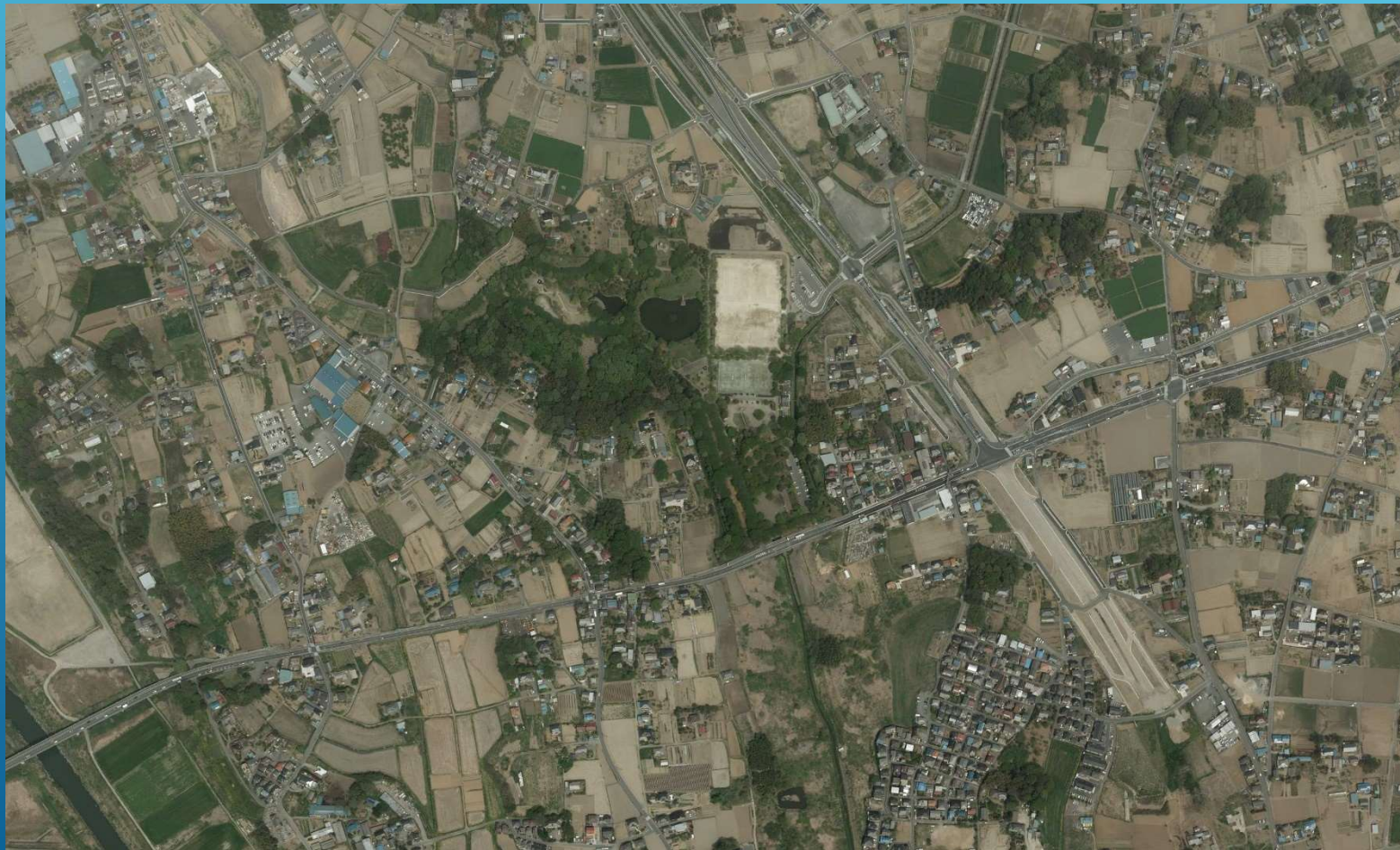
足立遠元ゆかりの地を訪ねる

三ツ木城跡（川田谷 城山公園）



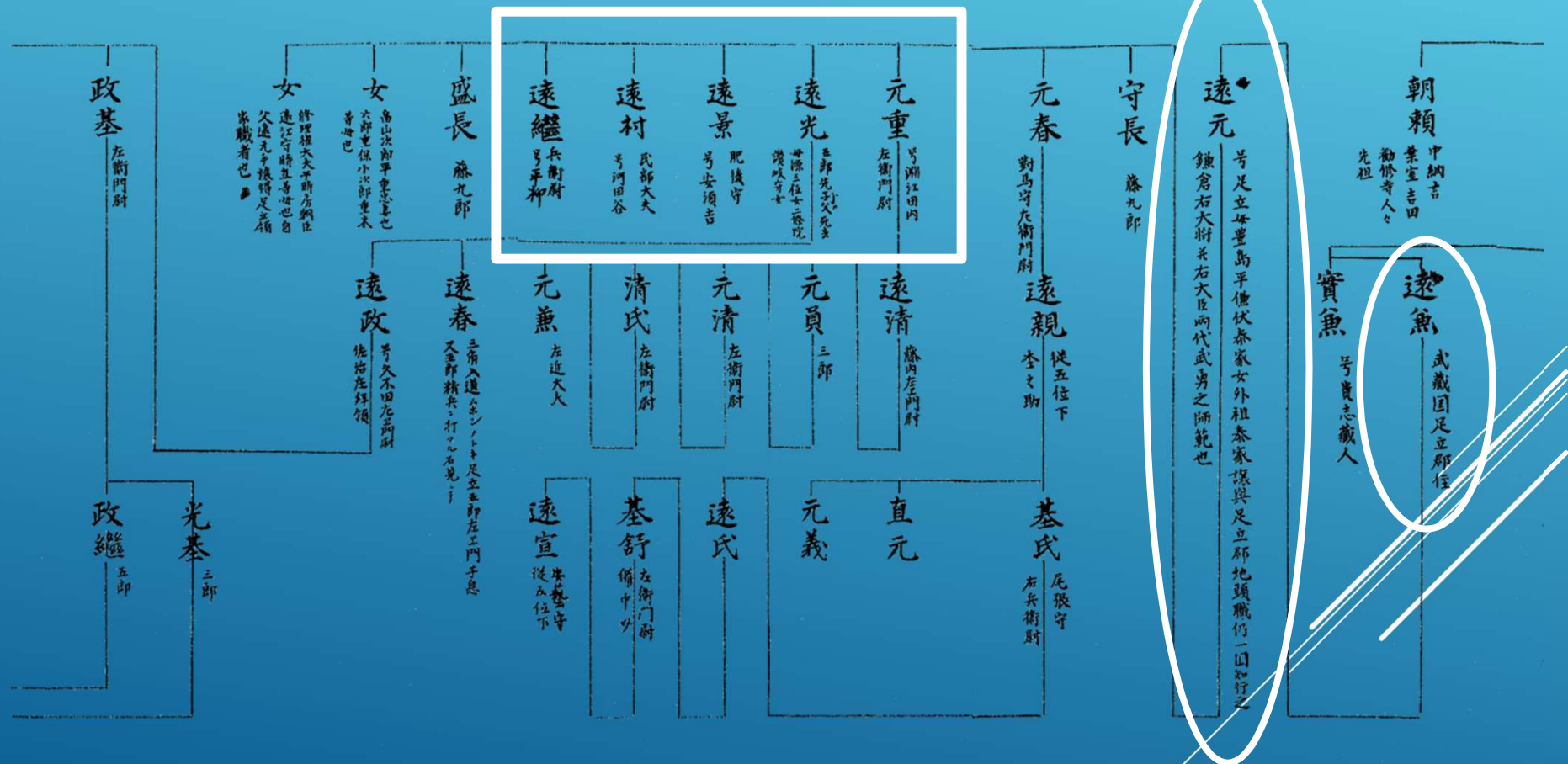
足立遠元ゆかりの地を訪ねる

三ツ木城跡（川田谷 城山公園）



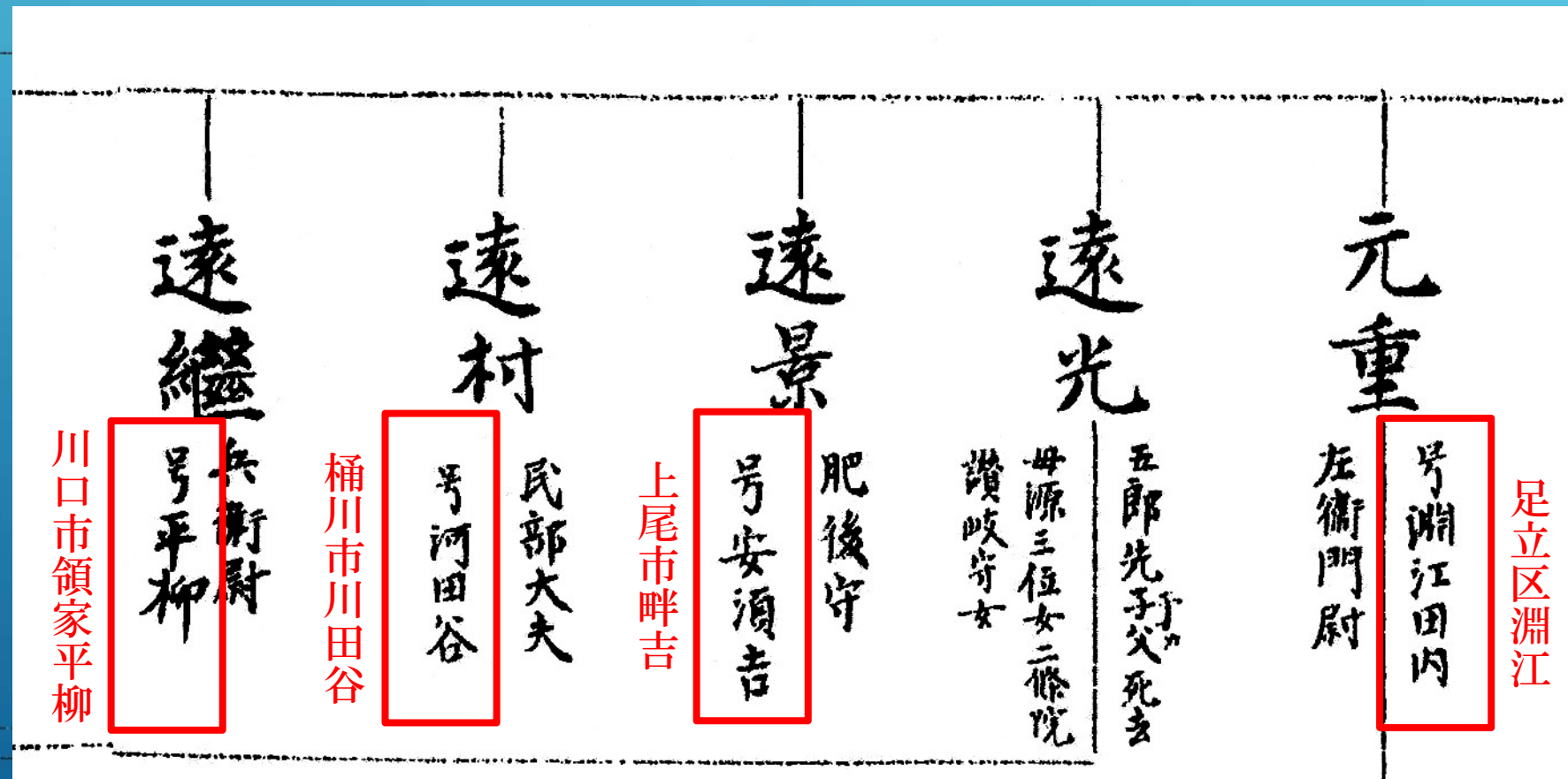
足立遠元と足立氏はその後どうなった？

足立氏の家系図



足立遠元と足立氏はその後どうなった？

足立氏の家系図



足立遠元と足立氏はその後どうなった？



足立遠元と足立氏はその後どうなった？

たんばあだちし
丹波足立氏

あだちとおまさ

足立遠元の孫である足立遠政（遠元の4男・足立遠光の息子）は、

たんばのくにさちのしょう

丹波国佐治庄に領地を与えられ、移り住みました。

1209年（承元3年）のことです。

ここは今の兵庫県丹波市青垣町というところです。

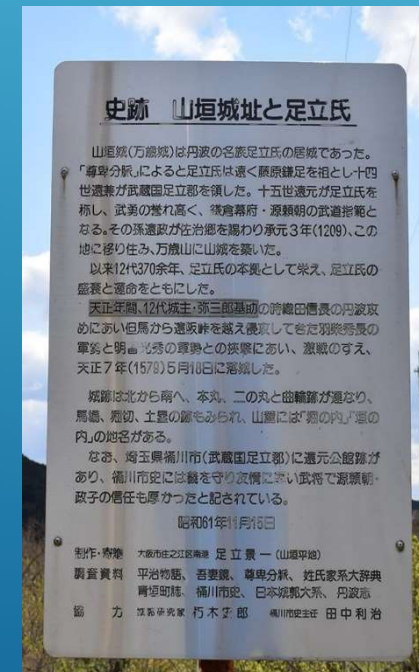
足立遠元と足立氏はその後どうなった？

たんばあだちし
丹波足立氏

足立遠政は、ここの山垣というところにある万歳山に

やまがいじょう

山垣城という館を築いて、この地を治めました。



足立遠元と足立氏はその後どうなった？

たんばあだちし
丹波足立氏

その後、武蔵国の足立氏の直系は衰退しやがて歴史から姿を消します。

しかし、丹波へ移った足立氏はその後も幾多の困難を乗り越えながら、今日につながっています。

足立遠元と足立氏はその後どうなった？

たんばあだちし
丹波足立氏

鎌倉時代に武蔵国で誕生した武士「足立遠元」の子孫は、800年以上もの時を経た今日も、丹波の地で令和の時代を生きています。



街中のあちこちで見られる「足立看板」。名字に名前を組み合わせた屋号も目立つ＝丹波市青垣町内

出典：神戸新聞NEXT

Musashi-bushi

足立遠元

足立遠元

